

地域医療

あがの市かわら版

第7号

新病院新築工事

完了まであと4ヶ月を切る

新病院建設も残すところあと4カ月となりました。外壁材の取り付けは3月末までに全て完了し、これに合わせて行われていた塗装材の吹き付けが終わった所から順番に、外部足場が解体され始めました。5月初旬にはこの足場は全て取り払われる予定で、間もなく新病院の全貌が明らかになります。



外来待合のようす（1F）

この工事のピークを迎えています。毎日多くの資材が搬入されていて、数日間で驚くほど内部の様子が変化しています。



間もなく足場が撤去される予定の外観

その一方で、建物内部では引き続き内装工事が行われていて、工事が進んでいる低層階では、壁の設置と天井裏の配管が終了し、天井ボード張りや壁の仕上げ工事となるクロス貼りなどを行って最中。今後引き続き、床貼り作業に着手する予定です。

現場内では、連日400人を超える作業員が作業を行っ



安田地区の新江用水路の両岸に咲いた約500本の桜

発行：阿賀野市 民生部 地域医療推進課

平成27年4月20日

TEL 0250-61-2503（直通）

FAX 0250-62-0281

E-mail: chiikiiry@city.agano.nigata.jp



水原郷病院常勤医師

4人増員！（4月から）

平成26年度に13人まで減少した常勤医師が、ようやくこの4月から4人増員となり17人になりました。

【新しく赴任された常勤医師】

○内科（総合医）



長谷川康太郎先生
（前新潟医療センター
内科部長）

○産婦人科



市川香也先生
（前新潟医療センター
産婦人科医長）

○皮膚科



伊藤雅章先生
（前新潟大学皮膚科学
分野教授）

○外科



野澤昌代先生
（新潟大学形成外科
教室所属）



新病院に向けた市民対話集会

水原郷病院長が展望を示す

また、非常勤で週2日、神経内科の権威で知られる佐々木彰一先生（前東京女子医大神経内科准教授）からも診療に際していただいております。徐々にはありますが、診療体制が充実してきています。

去る4月4日（土）、水原保健センターにて、「阿賀野地域の医療を良くする会」の主催による、市民対話集会が開催され、市民約70人が参加されました。

尾崎水原郷病院長から、「新病院の目指すもの」と題し、ご講演いただき、その中で、「一旦は半分まで減った医師が病院を維持し、この3月からは県内外から医師が集まり、外来機能が充実してきている」、「周辺地域の救急病院と機能分担して、リハビリ機能を充実させた後方支援



病院として役割を果たしていきたい」と語られました。

それを受け、市民からは、「当直をされる先生が増えた」とあるが、詳しく説明してほしい、「県内に基幹病院が開院予定であるが、大きな病院を作ることには地域医療が犠牲にならないか」等、貴重な意見が寄せられました。

また、「まちはひとつのホスピタルであるという、院長の目指す病院像がわかり、終末期の死に方まで言及されたお話に感銘を受けた」などの感想が述べられています。

